

## 医療安全通信 第53号-1

【薬局部 医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

### 硝酸剤 又は 一酸化窒素 (NO) 供与剤 と 併用禁忌の薬剤について

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の「共有すべき事例」2018年 No. 6には『硝酸剤との併用禁忌薬が処方された』事例が掲載されています。

[http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/sharing\\_case\\_2018\\_06.pdf](http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/sharing_case_2018_06.pdf)

#### ◆ 事例の内容

【原文のまま抜粋】

患者は、10年程前に循環器内科を受診し、ニトロペン舌下錠0.3mgが処方されたが、発作が出なかったため廃棄していた。4年前に患者が当薬局に初めて来局した際、泌尿器科からザルティア錠が処方された。お薬手帳にはニトロペン舌下錠0.3mgの記載はなく、患者からも「心臓の薬は飲んでいない」と聞き取った。その後も処方が継続され、ザルティア錠を交付する際には毎回併用薬を確認し、併用薬に関する注意点等が記載された印刷物「ザルティア錠を服用される方へ」も渡していた。今回、ザルティア錠の処方箋と一緒に、循環器内科からニトロペン舌下錠0.3mgの処方箋を受け付けた。この時に初めて患者から、10年程前にもニトロペン舌下錠0.3mgが処方されたことを聞いた。泌尿器科の処方医に疑義照会し、患者に泌尿器科を再受診してもらった結果、ザルティア錠が処方削除となった。

#### ◆ 背景・要因

初めてザルティア錠の処方箋を受け付けた時は、硝酸剤との併用について丁寧に説明を行ったつもりであるが、何年も継続して処方されていたため、その後は交付時に説明書を渡すのみであった。患者が併用禁忌の薬剤についてはよく理解できていると思い込んでいた。

#### ◆ 薬局が考えた改善策

継続して同じ薬剤を服用している患者に対しても、併用薬を確認し、併用禁忌の薬剤について説明を行うことが大切だとわかった。

#### ◆ その他の情報

ザルティア錠2.5mg/5mg(一部抜粋)

##### 【警告】

1. 本剤と硝酸剤又は一酸化窒素(NO)供与剤(ニトログリセリン、亜硝酸アミル、硝酸イソソルビド等)との併用により降圧作用が増強し、過度に血圧を下降させることがあるので、本剤投与の前に、硝酸剤又は一酸化窒素(NO)供与剤が投与されていないことを十分確認し、本剤投与中及び投与後においても硝酸剤又は一酸化窒素(NO)供与剤が投与されないよう十分注意すること。[禁忌]の項参照]

#### ◆ 事例のポイント

- 患者の服用歴をすべて確認するには、お薬手帳だけでは不十分なことがある。また、患者から既往歴や現病歴を正確に聞き出すことも難しいことである。
- 患者から病名について情報を収集する際は、具体的な症状を例に挙げて確認するなど、聴き方を工夫することも必要である。
- 薬剤の患者説明用ツールを利用する際は、ただ渡すだけではなく、患者と一緒に重要事項を確認したり、成分名を販売名に置き換えて説明したりして、患者にとってわかりやすい説明を心掛けたい。

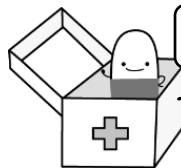
タダラフィル(ザルティア)は、血管平滑筋の弛緩などに関わるサイクリックGMP(cGMP)を分解するホスホジエステラーゼ5(PDE5)を阻害します。cGMP濃度の上昇により血管平滑筋が弛緩し、下部尿路組織における血流や酸素供給量が増加する結果、組織障害が改善し、下部尿路症状が改善すると考えられています。PDE5は肺血管平滑筋、陰茎海綿体などにも存在し、PDE5阻害薬は肺高血圧症や勃起不全の治療にも用いられます。

一方、硝酸剤は、細胞内で一酸化窒素(NO)を産生し、グアニル酸シクラーゼを活性化することによりcGMPを増加させ、細胞内Ca<sup>2+</sup>濃度を減少させて、血管拡張作用を起こします。

### **PDE5阻害剤 と 硝酸剤 又は NO供与剤 は 併用禁忌**

**cGMPの増大を介するNOの降圧作用が増強され、**

**過度の血圧下降を生じる可能性があるため**



医療安全通信 第53号-2

【薬局部 医療安全委員会】

**硝酸剤又は一酸化窒素(NO)供与剤と併用禁忌の薬剤**

一般名	商品名	効能・効果
タダラフィル	アドシルカ錠20mg	肺動脈性肺高血圧症
	ザルティア錠2.5mg・5mg	前立腺肥大症に伴う排尿障害
	シアリス錠5mg・10mg・20mg	勃起不全
シルデナフィル	バイアグラ錠25mg・50mg ／ODフィルム25mg・50mg 【GE】シルデナフィル錠25mgVI・50mgVI ／OD錠50mgVI	勃起不全
	レバチオ錠20mg／ODフィルム20mg ／懸濁用ドライシロップ900mg	肺動脈性肺高血圧症
バルデナフィル	レビトラ錠5mg・10mg・20mg	勃起不全
リオシグアト	アデムパス錠0.5mg・1.0mg・2.5mg	慢性血栓性肺高血圧症 ／肺動脈性肺高血圧症

※リオシグアトは可溶性グアニル酸シクラーゼ刺激剤で、c GMPの産生を促進する。

硝酸剤及びNO供与剤には、下表のように内服薬だけでなく、舌下錠、スプレー、貼付薬、吸入薬、注射薬もあり、**患者は飲み薬以外の併用薬について失念している**ことがあります。また、発作時、胸痛時等の頓服処方、定期薬に含まれていない場合があり、**使用中のお薬手帳に記載されていない**こともあります。併用薬の確認には、入念な聞き取りと細心の注意が必要です。



**主な硝酸剤、一酸化窒素(NO)供与剤**

一般名	剤形	商品名
一硝酸イソソルビド	内服	アイトロール錠10mg・20mg
		ソプレロール錠10mg・20mg
		タイシロール錠10mg・20mg
		一硝酸イソソルビド錠10mg・20mg 「タイヨー」、「サワイ」、「トーフ」
		フランドル錠20mg
硝酸イソソルビド	内服	硝酸イソソルビド徐放錠20mg 「サワイ」、「ツルハラ」、「トーフ」
		ニトロールRカプセル20mg
		カリアントSRカプセル20mg
		イソコロナールRカプセル20mg
		ニトロール錠5mg
		ニトロールスプレー1.25mg
	貼付	フランドルテープ40mg
		ニトラステープ40mg
		イソビットテープ40mg
		硝酸イソソルビドテープ40mg 「EMEC」、「サワイ」、「テイク」、「東光」 リファタックテープ40mg
注射	ニトロール注	
	硝酸イソソルビド注「タカタ」	
	ニトロール点滴静注バッグ	
	ニトロール注シリンジ	
	ニトロール持続静注シリンジ	
ニトプロシドナトリウム水和物	注射	ニトプロ持続静注液
亜硝酸アミル	吸入	亜硝酸アミル「第一三共」

一般名	剤形	商品名
ニトログリセリン	舌下錠	ニトペン舌下錠0.3mg
		スプレー
	貼付	ニトロダームTTS25mg
		ミリステープ5mg
		ジドレンテープ27mg (経過措置品)
		ニトログリセリンテープ27mg「トーフ」
		バンソレーターテープ27mg
		ニトロテープ27mg
	注射	メデイトランステープ27mg
		ミリスロール注
		バンソレーター注
		ニトログリセリン注「HK」
		ミオコール静注
		冠動注用ミリスロール
		ニトログリセリン点滴静注「HK」
ニトログリセリン注シリンジ「テルモ」		
ニトログリセリン静注シリンジ「TE」		
ニコランジル	内服	シグマート錠2.5mg・5mg
		ニコランジル錠2.5mg・5mg 「サワイ」、「トーフ」、「日医工」
	注射	シグマート注 ニコランジル点滴静注用 「F」、「サワイ」、「日医工」
ニブラジロール	内服	ハイパジールコーワ錠3・6

※注射剤は規格を省略 (2018年10月10日現在)

《参考資料》

- ・ザルティア錠2.5mg／ザルティア錠5mg インタビューフォーム
- ・日本新薬 服薬小冊子「ザルティア®を服用される患者さんへ」
- ・2018年10月10日現在の添付文書データ

旭川薬剤師会公式サイトに医療安全通信のバックナンバー、掲載資料、リンク先を掲載しています。

